

甲賀市・湖南市方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました。

3月17日（木）に、甲賀市・湖南市方面を訪問させていただいた春の宿泊研修は、コロナの影響により2年振りとなる研修でしたが、正午から日帰りで実施し、学生23名（滋賀医科大学医学科第1～6学年13名、看護学科第1～4学年10名）が参加しました。

【行程】

学生は散策と紫香楽病院に分かれて研修を行いました。

・信楽の街散策

「信楽陶芸村」にある登り窯を見学しました。店主の方に登り窯の説明していただき、タヌキの焼き物などの由来について学びました。



・紫香楽病院にて研修

紫香楽病院には医学科6名、看護学科3名の学生が訪問しました。大野院長の挨拶のあと、金診療部長から病院の概要について説明を受けました。中島教育担当看護師長より重症心身障害児(者)の看護について説明していただきました。最後に鳴門副院長より療育指導室の見学をリモートで行っていただきました。



続いて、水口病院、こうせい駅前診療所に分かれて病院を訪問しました。

・水口病院にて研修

湖東、湖南・甲賀地域の精神科医療を担う精神科（単科）の病院である水口病院には、医学生・看護学生11名が訪問させていただきました。

與那城看護部長から水口病院の概要についてご説明をいただいた後、その後、病院見学を行っていただきました。最後に青木院長から挨拶があり、学生からの質問に答えていただきました。



・こうせい駅前診療所にて研修

こうせい駅前診療所には、医学生・看護学生12名が訪問させていただきました。佐々木所長から診療所の見学を行っていただいた後、施設の概要、コロナ禍での対応など診療所の在り方について説明していただきました。また、生協の湖南甲賀支部の市川事務局長より、診療所が出来るまでの

経緯を説明していただき、「命と健康を守るまちづくり」として『地域まるごと健康づくり』を掲げ活動を行っておられるなど、医療生協との関わりについてお話いただきました。



最後は公立甲賀病院にて合流し、全員で研修を行いました。

・公立甲賀病院にて研修

甲賀・湖南地域の中核病院である公立甲賀病院を訪問させていただきました。辻川院長より病院の概要を説明していただき、その後、医学科・看護学科の2班に分かれて病院見学を行っていただきました。リハビリテーションの充実など、治療後の生活まで考えられており、回復期への移行の重要性を学ばせていただきました。



コロナの影響により宿泊による交流会が実施できなかったため、最後は大学へ戻り、Zoom 配信にて勉強会を実施しました。

はじめに、公立甲賀病院 辻川知之院長に『地域における甲賀病院の役割、滋賀医大理事からみた地域医療』と題してご講演いただきました。その後、訪問先の関係者の方々や里親、プチ里親の方々もご参加いただき、ディスカッションを行うことが出来ました。また、参加学生の報告会なども行われ、自分の訪問病院以外での研修内容も把握することができました。



今回も、地域の方々をはじめ、たくさんの医療関係者の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれ、地元の方々の暖かな人柄に触れながら、この素晴らしい甲賀市・湖南市地域で地域医療に従事する学生が一人でも多く活躍してくれることを切に期待しています。

(この研修は、NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターとの共催で実施しました。)